

	1 感想、今後の取組に活かしていきたいこと	2 個別BCPについて(課題、府への要望)	3 連携型BCPについて(課題、府への要望)	4 評価				5 今回の交流会を知ったきっかけ	6 今後、取り上げて欲しいテーマ
				全体	1 ライフラインの災害対応	2 BCP策定・見直しのスズメ	3 BCP実践事例		
1	ライフライン関連3社の取り組み発表は確認の意味で参考になった。	年2回全社・全グループの地震対策訓練を実施しているが、ブラインド訓練や行政・地域連携訓練はまだ不足している。		③	③	②	②	③FAX	
2	・決められたプランを実行できるか否かより色々なパターンでの訓練にあたり修正を加えていくことで対応能力自体の向上を図っていくべきという講演が大変参考になった。 ・全体的に参考になる話が多く、自社に持ち帰って検討したい。	現在のBCPの実効性の確保が最大の課題と考えている。	肯定的にサプライチェーンは考慮しにくい企業が企業間連携を強固なものとしていきたいと考える。現在府と地元金融機関とで連携を図っているがこれからも実効性を高めていきたい。	②	③	①	②	③FAX	過去の震災等における事例紹介
3	巨大地震発生時にどういことが起こるか知りことができた。	府が主導で交流会を開催することが大変参考になった。	インフラがストップした時、府のどこから情報を得れば良いかがわかりやすいとよいと思う。	②	④	①	②	①京都府ホームページ	地震、火事、風水、感染で実際に事業継続が困難になった中で対応された団体の方に体験をききたい。
4		災害をどこまで想定し、どれだけの社員にどこまで訓練していくかの範囲決めが課題		②	③	②	③	④メルマガ	
5	・訓練においてシナリオ通りに動けるかでは想定外の時に対応できない。事前にシナリオは伝えずに事象を経験し、できなかったことに対しての見直しを行うことで想定外に対応できる体制整備をしていく参考となった。	・より実効性のある訓練の実施方法 ・一人一人がBCPに対して意識を高めていくこと。		②	②	②	②	③FAX	
6	・BCPを策定してもいざというときに役に立たなかったという声をよく聞く。BCPを有効なものにするためには何が必要なのかまた、事例とその企業が抱えている課題が知りたくて参加した。 ・特に東京海上日動火災保険(株)、村田機械(株)の講演が参考になった。			②	③	②	②	①京都府ホームページ	全企業の99.7%は中小企業であるため、中小企業で有効なBCPを策定しているところがあれば事例を伺いたい。

1 感想、今後の取組に活かしていきたいこと	2 個別BCPについて(課題、府への要望)	3 連携型BCPについて(課題、府への要望)	4 評価				5 今回の交流会を知ったきっかけ	6 今後、取り上げて欲しいテーマ
			全体	1 ライフラインの災害対応	2 BCP策定・見直しのスズメ	3 BCP実践事例		
7 <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京海上日動火災保険(株)のシミュレーションは「何が必要で、どう動くべきか」をどの立場の者でも分かり易く考えられるためすばらしかった。</li> <li>・ライフライン3社の講演でライフラインのありがたさを改めて実感した。特にNTTの講演が分かり易かった。2社についてももう少しゆっくり話してもらえると良かった。</li> <li>・製造業2社の講演を聞いて、正直ここまでやらなければいけないのかと感じていたが「BCPの世界に『これで大丈夫』は存在しない」と気付かされた。また、取引先からの「これはBCPでない」と言われた話も衝撃的だった。</li> <li>・交流会開始時間を13時30分～17時にしてほしい。</li> <li>・DVD上映の際に民放TVが2度映り、気になった。</li> </ul>	BCPの準備費用や期間を考慮すると、中小企業にはハードルが高いため、中小企業にも取り組みやすい仕組みを設けてほしい。	どの事業者でも相談しやすい窓口を設けてほしい。京都経済センター(仮称)に行政と産業界を結ぶオフィスが設けられると聞いたので、そこでBCPについても相談できるようになればありがたい。	②	②	①	②	⑨その他(府からの案内)	建設業におけるBCPの取組
8 <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな災害が起きているかわからないという前提のもと、具体的な取組事項を考えるのは難しいのが本音である。</li> <li>・公共性の広い企業ではBCPを意識して事業を進めておることがわかった。</li> </ul>	様々な事業や機能部門が同居している事業所なので未だイメージがもてない。	いざというときに頼るのは地元の消防等であり、それを統括する上位の行政機関へ促進をお願いしたい。	③	③	②	②	⑦BCP策定支援ワークショップ	
9 <ul style="list-style-type: none"> <li>講演以外の間のディスカッション時間がもう少し欲しい。パネルディスカッションも良いかと思う。</li> </ul>	今後委員会等へ参加したい。							
10 <ul style="list-style-type: none"> <li>・関西電力(株)に東日本大震災の教訓から原子力発電の安全性(防災対策)について講演いただきかった。</li> <li>・できるだけ早い時期にBCPを策定したいと考えている。村田機械(株)、JOHNNAN(株)の事例発表は大変興味深かった。</li> </ul>			③	④	③	②	③FAX	
11 <ul style="list-style-type: none"> <li>東北・熊本被災地の視察を行いたいけどどのようにしたらいいか教えてほしい。</li> </ul>		実際被災現場の生の声やまとめ資料が欲しい。これらの情報をシミュレーション訓練に活かしたい。	③	③	②	②	⑦BCP策定支援ワークショップ	
12 <ul style="list-style-type: none"> <li>・NTTの災害時のドローン活用に期待したい。自社でもドローン、AI、ITの活用方法を検討していかなければならないと感じた。</li> <li>・地域貢献について改めて実感した。</li> </ul>			①	①	①	①		働き方改革について

1 感想、今後の取組に活かしていきたいこと	2 個別BCPについて(課題、府への要望)	3 連携型BCPについて(課題、府への要望)	4 評価				5 今回の交流会を知ったきっかけ	6 今後、取り上げて欲しいテーマ
			全体	1 ライフラインの災害対応	2 BCP策定・見直しのスズメ	3 BCP実践事例		
13 ライフライン事業者として通信の確保や早期復旧については日頃から取り組んでいるが、社員の安全や通信以外の部門のBCPについてまだまだ弱い面があり、今回の交流会で多くの気づきがあったため、今後活かしていきたい。		今後も京都BCPライフライン連絡会を通して行政と企業の連携強化に役立つよう取り組んでいきたい。	①	②	①	①	⑨その他(京都BCPライフライン連絡会)	
14 スライドのみで資料がなかったり、パンフレットを読むだけでは不足である。			③	③	②	①	④メルマガ	
15 他企業のBCP取組を参考にして当社でも展開できるように進めていきたい。	事例を多く聞かせていただけるとありがたい	災害時の交通網がうまく回る様に交通道路の延長を早く実現してほしい。		③	②	①	⑤配架チラシ	
16 ・ライフライン3企業の取組は一方的であり、実際京都での災害発生時に具体的にどう動くのか理解できなかった。 ・村田機械(株)JOHNAN(株)の取組は、今後BCP策定の目安となるものであり、ありがたかった。2社ともメーカー企業であったため、次回は他業種の組み合わせでの発表を希望する。			③	④	②	③	⑨その他(商工会議所主催のセミナーでの配布チラシ)	
17 地震シミュレーションを自分で行うことで、実際に訓練する時の参考となった。			②	③	②	②	⑤配架チラシ	
18 巨大地震発生シミュレーションは考えながら気づきがあり、非常に良かった。 夏と冬では対応が違って来るため前提条件に発生日(季節や天候など)があればもさらにイメージができると思われる。			③	③	②	③	⑧講演企業からの御案内	

	1 感想、今後の取組に活かしていきたいこと	2 個別BCPについて(課題、府への要望)	3 連携型BCPについて(課題、府への要望)	4 評価				5 今回の交流会を知ったきっかけ	6 今後、取り上げて欲しいテーマ
				全体	1 ライフラインの災害対応	2 BCP策定・見直しのスズメ	3 BCP実践事例		
19	自社BCPの作成	災害時緊急マップの提供	BCP訓練支援の提供	②	②	②	①	⑧講演企業からの御案内	
20	他社の事例を聞くのは大変貴重な機会であった。積極的に取り入れていきたい。			①	①	①	①		
21	企業の取組がよくわかった。より多くの事例が知りたい。			①	①	①	①		訓練の手法
22	他企業の取組状況を知ることができ、参考になった。	・使えるBCPになるような作り込み ・連携(社員) ・現場部内との協力	企業内情報交換プラットフォーム	②	④	②	①	⑨その他(メールにて案内)	
23	一方通行の発表であり、ディスカッションの時間が必要である。	特にトラフ型の地震の場合、観光客等の帰宅困難者対応が大きな課題となる。府としての方針があるなら示してほしい。	・SCMを実施している企業がどんなマネジメント運用をしているか紹介してほしい。 ・トラフ型の巨大地震の場合の一時避難している観光客等をどのように被災地から移動させるか方針等を示してほしい。	③	③	③	②	⑨その他(府からの案内)	
24	非常時の判断力、行動力を高めるため、訓練に重きをおく。	インバウンドを含む旅行者対応		②	②	②	②	③FAX	
25	各企業の災害における防災対策が大変参考となった。必要に応じて取り組んでいきたい。	実践に則した各関係自治体、社内関係部署との連携	必要な情報共有と連携	③	③	②	③	③FAX	
26	・パンフレット配布のみでは理解しがたい説明されるパワーポイント資料も配付していただきたい。 ・実際に策定されたBCPを紹介していただきたいかった。 ・既にシミュレーションを体験した企業が退席できるよう、講演を最後にすべきだと思われる。	自社のBCP策定で検討している部分の参考としたいので、実際に策定された企業のBCPを京都府HPへ公開してほしい。	左記同様	④	④	④	③	①京都府ホームページ ⑦BCP策定支援ワークショップ	・実際に策定された企業のBCP事例の紹介 ・実践的なBCPのポイント ・時間通りのカリキュラム

	1 感想、今後の取組に活かしていきたいこと	2 個別BCPについて(課題、府への要望)	3 連携型BCPについて(課題、府への要望)	4 評価				5 今回の交流会を知ったきっかけ	6 今後、取り上げて欲しいテーマ
				全体	1 ライフラインの災害対応	2 BCP策定・見直しのスズメ	3 BCP実践事例		
27	・シミュレーションは考える時間と回答解説があり、身になりました。 ・他社(2社)の事例は参考になった。	・実際に発生した際に本当に実行できるのか ・広く社員に知識を浸透させること		②	②	②	②	③FAX	他社のBCP事例紹介
28	・東京海上日動火災保険(株)のシミュレーションですぐに答えられない質問があった。 ・計画を作ること大切であるが、社員全員が共通認識を持つことが大切であり、その意味で様々なシミュレーションにおいて実効性を高めておく訓練が重要であるとわかった。	本部中心でBCPを作成しているが、現場目線や各事業所目線では抜け落ちている所はないのか、また、訓練が形骸化しているため、いざというときに機能するか心配である。		②	③	①	②	③FAX	
29	・他社事例は参考になった。 ・シミュレーションは面白いと思った。 ・休憩時間が少ない。	・形骸化しやすい ・実態と乖離しやすい		②	③	②	②	⑥会議	
30	東京海上日動火災保険(株)の想定演習は企業の災害担当者向けに実施すると良いかと思う。まずは「自助」の観点から考えることが大切だと思う。	災害発生時を想定した中で特にけが人に対応する備えが大切だと考えるため、どの地域においても徒歩で移動できる範囲内に救護所等を設けて応急対応ができるように考えてもらいたい		③	③	②	③	⑨その他(府からの案内)	
31	想定外をいかに対応できるかを考えて準備が必要だと感じた。	拠点毎では訓練ができているが、拠点連携の課題がある	・企業事例の紹介 ・訓練への参加(見学)	②	②	②	②	①京都府ホームページ	
32	・京都府・京都市において、大規模災害が発生した場合、ライフラインをどの程度の期間でどの程度復旧させる、または復旧できる見込みをしているかについての話が聞ければよかった。 ・NTTの資料はスライドで写された資料を配付してほしいかった			②	②	②	②	⑨その他(従業員へのメールによる案内)	

1 感想、今後の取組に活かしていきたいこと	2 個別BCPIについて(課題、府への要望)	3 連携型BCPIについて(課題、府への要望)	4 評価				5 今回の交流会を知ったきっかけ	6 今後、取り上げて欲しいテーマ
			全体	1 ライフラインの災害対応	2 BCP策定・見直しのスズメ	3 BCP実践事例		
		選択肢:①(大変満足)	4	3	6	8		
		選択肢:②(満足)	12	7	18	13		
		選択肢:③(普通)	9	13	2	6		
		選択肢:④(良くなかった)	1	4	1	0		
							4	選択肢:①(京都府ホームページ)
							0	選択肢:②(商工会議所等ホームページ)
							8	選択肢:③(FAX)
							2	選択肢:④(メルマガ)
							2	選択肢:⑤(配架チラシ)
							1	選択肢:⑥(会議)
							3	選択肢:⑦(BCP策定支援ワークショップ)
							2	選択肢:⑧(講演企業からの御案内)
							7	選択肢:⑨(その他)